

令和2年度 呉羽高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活（生徒指導）	
重点課題	① 「挨拶」を自主的に行い、自覚を持って「服装」を正しく着用する生徒の育成。 ② スマートフォン・携帯電話について、節度のある使用が自主的にできる生徒の育成。	
現 状	①ここ数年、継続して「挨拶」と「服装」に重点を置いて指導してきた結果、生徒たちの挨拶は少しずつよくなっており、服装についても全体に落ち着き、よい傾向にある。ただし、この状態をさらに高めていく意識がなければ、せっかく醸成されてきた校風を崩してしまう恐れがある。 ②富山県高等学校PTA 連合会では、イレブン・セブン運動（夜11時から翌朝7時までスマートフォン等を使用しない運動）を展開している。本校でも新入生に案内を配布し、廊下にポスターを貼り、全校集会で指導している。全国的統計では1日(平日)のスマートフォン等の平均使用時間は時代の流れで年度毎に少しずつ増えている。twitter やLINE などのコミュニケーションツールの進歩より、夜遅くまでスマホを手放せない生徒が多い。	
達成目標	①生徒の自己評価について〈5：いつもきちんとできる、4：だいたいいつもできる〉の割合。 ・【挨拶】「授業」80%以上、「校内」80%以上 ・【服装】85%以上	② 夜11時までにスマホの使用を止めることについて（4：止めている、3：ほぼ止めている）の割合。 50%以上
	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝、生徒指導部と各学年が連携して、生徒玄関や学年の廊下で生徒に挨拶をする。</li> <li>職員会議や生徒議会などを通して、挨拶のできる呉高生の意識を共有する。</li> <li>授業の始まりや終わりの挨拶をよくなるまでやり直させる。よくできたら褒める。</li> <li>校紀委員会を活用し、標語を募集したり、さわやか運動に積極的に参加するよう促す。また、クラス内でも服装や挨拶に気をつける雰囲気作りに努めさせる。</li> <li>各学期の始めと中頃に2回、各学年で一斉服装頭髪指導を行い、落ち着いた学習環境を維持することに努める。</li> <li>必要に応じて、個々の生徒の状況に応じた個別指導を担任と連携して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会でイレブン・セブン運動を周知徹底し、スマートフォン利用にはルールの必要性であることを説き、自主的に節度ある使用を心がけさせる。</li> <li>生徒のスマートフォン使用状況について詳細な調査を行う。調査の結果を生徒に伝達し、自分たちの使用実態について自覚させるとともに、HR活動で結果について話し合う機会を持ち、改善点や改善方法について自分たちで考えさせる。</li> <li>1年生に「スマホケータイ安全教室」を実施し、SNS使用の危険性について専門家の講話を通して指導する。</li> <li>校紀委員会で学校ネットルールづくりを行い、ルールの必要性を啓発する。</li> <li>教科「情報」の教員と協力し、情報モラルやセキュリティの意識の向上を図る。</li> </ul>
達成度	挨拶の自己評価 授業84.0%・校内82.9%(1期) 授業83.7%・校内82.2%(2期) 服装の自己評価 91.1%(1期)、87.3%(2期)	1年 28.1%(1期)、32.7%(2期) 2年 28.6%(1期)、28.4%(2期) 3年 36.7%(1期)、38.1%(2期)
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学期の始めと10月の「さわやか運動」期間中に「挨拶・服装マナーアップ週間」として全教員が生徒玄関、廊下、教室等で指導を行った。</li> <li>挨拶・服装について本校の方針を職員会議で提示し、全職員の共通理解を図った。</li> <li>毎朝、生徒玄関に立ち、挨拶と服装について粘り強く声かけを行い、指導した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会でスマートフォン利用にはルールの必要性であることを説き、自主的に節度ある使用を心がけるよう指導した。</li> <li>校紀委員会で学校ネットルールの見直しを行い、ルールの必要性を啓発した。</li> <li>教科「情報」の授業で、情報モラルやセキュリティの意識の向上を図った。</li> </ul>
評 価	① A ② C	① 挨拶・服装ともに昨年より自己評価が高くなった。コロナ禍のため、目立ちたいや羽目を外したいという余裕がないと思われる。 ② 達成度が3年生は上がったが、1・2年生は下がった。オンライン授業が推奨されたため家庭でのスマホ利用に歯止めがかからなかったことが原因の1つである。
学校評議員意見	挨拶や服装など、大変よく整っているとの印象を受けます。スマホ利用については、オンライン授業等の不可欠な使用機会があることで歯止めが利かないということはあると思います。ダラダラ流されないで、切り替えて別のことをするというメリハリのある生活習慣が大切である。	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶・服装に関しては、コロナ禍が終わった後の反動に注意したい。</li> <li>時代の流れでスマホの利用する場面が増えているが、節度あるスマホ利用を心がけさせたい。</li> </ul>	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)